

Business Report

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
- 公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主の皆様のお声を聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6333

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ
「e-株主リサーチ事務局」
TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00～17:30)
MAIL: info@e-kabunushi.com

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。
<http://www.teikokudenki.co.jp/>

株式会社 帝国電機製作所

〒679-4395

兵庫県たつの市新宮町平野60番地

TEL 0791-75-0411



株式会社 帝国電機製作所

積極的な海外戦略を展開し、 海外売上高比率55%以上の目標達成。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループの第108期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の事業の概況をご報告させていただきます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、依然として東日本大震災の影響による厳しい状況下にあるものの、企業の生産活動は持ち直しの傾向が見られ、震災により停滞していた消費者マインドも回復の兆しが見られました。また、年度末の急激な円高の緩和や持ち直しつつある株式市況等明るい兆しが見えてきました。しかしながら、電力供給の制約や雇用情勢の悪化、原油価格の高騰、中国の金融引き締めによる成長率の陰り、さらに、欧州の財政危機の再燃懸念等があることから、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当社グループは、「積極果敢」をスローガンに、当連結会計年度の業績目標を達成すべく、全社一丸となって取り組んでまいりました。また、当社グループの目標とする経営指標の一つである海外売上高比率55%以上達成のために、積極的な海外戦略を展開し、北米市場では、平成23年9月に米国子会社 TEIKOKU USA INC.によるキャンドモータポンプ市場の更なるマーケットシェア拡大を目指して、フィラデルフィアにあります Warminster工場を同じ施設内の隣接地に移転し、大型ポンプの改造や試験もより効率的に実施可能となり、今後の受注増加にも対応できる体制となりました。中国市場では、更なるマーケットシェア獲得を図るため、中国子会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が天津市と雲南省昆明市に営業所を新規に開設する等営業力強化・サービス体制の拡充を推進してまいりました。また、BRICsをはじめとした新興市場への販路拡大等を推進してまいりました。これらの結果、海外売上高比率は57.0%となり、グループ目標を達成することができました。

一方、国内においてはユーザーとの継続的な信頼関係の強化や新規顧客の開拓に努め、市場及び顧客ニーズを収集した提案型営業を展開するとともに、原価低減、技術開発、品質向上、生産性向



代表取締役社長 宮地 國雄

上、サービス体制拡充等経営体質の強化に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は、主力のポンプ事業において、国内の設備投資は依然として厳しく本格回復には至っておりませんが、欧米・中国等を中心に海外売上が好調に推移したこと、また電子部品事業においては、東日本大震災やタイの洪水被害により当社グループ得意先での生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を受けましたが、そのサプライチェーンも急速に復旧し、震災及び洪水発生前の水準に概ね回復したこと等により、全体として177億65百万円(前期比9.3%増)となりました。

利益面につきましては、年度末の急激な円高の緩和や売上高の増加及び原価低減等により粗利率が改善した結果、営業利益は21億30百万円(同29.5%増)、経常利益は21億30百万円(同39.9%増)、当期純利益は12億39百万円(同60.1%増)となりました。

今後とも株主の皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

業績ハイライト



ポンプ事業



ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプは海外向けで販売が増加し、ケミカル以外用モータポンプは国内向けで販売が増加しました。内訳は、ケミカル用モータポンプにおいては、主力のケミカル機器モータポンプが海外向けで増加し、冷凍機・空調機器モータポンプが国内向けで増加しました。また、ケミカル以外用モータポンプにおいては、電力関連機器モータポンプが国内

向けで増加しました。

その結果、売上高は150億14百万円(前期比10.4%増)、連結売上高に占める割合は84.5%となりました。

また、営業利益は、年度末の急激な円高の緩和や売上高の増加及び原価低減等による粗利率の改善に努めた結果、21億3百万円(同24.0%増)となりました。

● 売上高 (百万円)



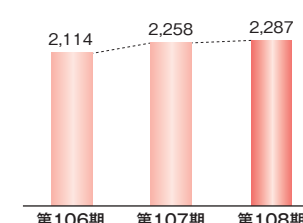
電子部品事業



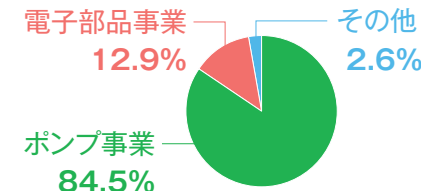
電子部品事業は、自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が当社グループ得意先での生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を受けましたが、そのサプライチェーンも急速に復旧したことで、売上高は22億87百万円(前期比1.2%増)、連結売上高に占める割合は12.9%となりました。

また、営業利益は、生産調整の影響及び製造ラインの移管費用発生等がありましたが、サプライチェーンが急速に復旧したことによる売上高の増加等により、2百万円(前期は70百万円の赤字)となりました。

○ 売上高 (百万円)



事業の種類別売上高比率



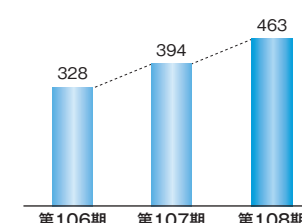
その他



その他は、熱交換器等の特殊機器の売上が増加したこと、売上高は4億63百万円(前期比17.3%増)、連結売上高に占める割合は2.6%となりました。

また、営業利益は、売上の増加等により、24百万円(同22.4%増)となりました。

○ 売上高 (百万円)



新型電動油ポンプ

当社電動油ポンプは、国内電力会社の超高压受配電変圧器や新幹線車両搭載型変圧器において100%のシェアを誇り、今後も継続した受注を期待できるものの、海外においてはまだ多くの市場が残されています。なかでも、米国のスマートグリッド（次世代送配電網）や、アジア、アフリカ、南米の電力インフラ整備、省エネ社会に寄与する高速新幹線鉄道網など、変圧器を取り巻く市場は急速に広まっております。

そこで、海外市場に向けた軽量高効率かつ従来型同等の高信頼性を有し、コストダウンを図った世界で戦える価格競争力のある電動油ポンプを市場投入しました。今後、海外市場においてもシェア拡大が期待できます。



新型定量ポンプ

定量ポンプは、往復運動で液体を輸送する容積式ポンプの一種で、石油化学やファインケミカル製品の製造工程で使用されています。当社定量ポンプはポンプ部が完全密閉型で、毒性や可燃性の危険液、高温液、高融点液、悪臭を放つ液、大気に触れると変質する液などの取り扱いに適しています。

そこで、好評を博していた従来型定量ポンプから更にコストダウン及びメンテナンス性の向上をにらみ部品点数の削減、剛性アップ、機能性アップを実現した新型定量ポンプを市場に投入しました。今後益々日本国内、アジア市場のみならず、欧州、中東市場にも需要拡大が期待できます。



「INCHEM TOKYO 2011」に出展

平成23年11月16日から18日までの3日間、東京ビッグサイトにて開催されました「INCHEM TOKYO 2011」に当社ブースを出展いたしました。

当社のような化学用機器類を世に送り出している企業の新技術や新製品の発表の場が2年に1回与えられており、その場がこの「INCHEM TOKYO」です。

今回は、当社独自製品として生まれ変わった新型定量ポンプをメインに、今後海外の石油プラントでの需要が期待視されているAPI完全準拠ポンプを展示いたしました。

実演では、従来型から新型への設計改善点など正面の大型モニターを利用して説明、また三連定量ポンプとアキュムレータを組み合わせた実演装置によって脈動の減少度合いを可視化し、更にバルブ操作を加え脈動の増減を再現したことから、どこからともなくお客様が集まって大盛況となりました。

開催期間中は多数のお客様にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。



TOPICS

株主優待のご案内

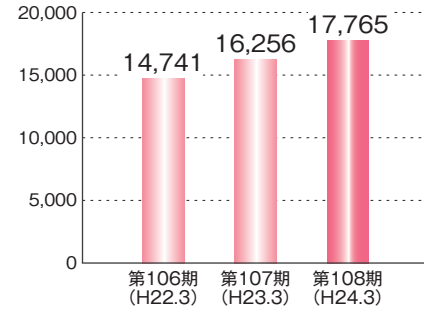


当社では、右記のとおり株主優待を実施しておりますので、ご案内申し上げます。なお、当社では「ECOLOGY」をキーワードにした環境配慮型商品をオリジナルチョイスギフトの商品ラインナップに加えております。

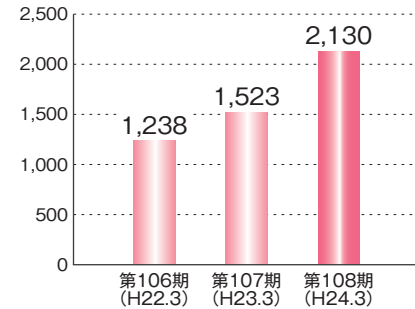
- 株主優待基準日：毎年3月31日
- 内容
 - 100株以上…1,000円相当の図書カード
 - 500株以上…3,000円相当のカatalogギフト
 - 1,000株以上…5,000円相当のカatalogギフト

図書カードにつきましては、株主総会決議通知に同封させていただいておりますが、カatalogギフトにつきましては、7月上旬にカatalogを発送させていただきます。

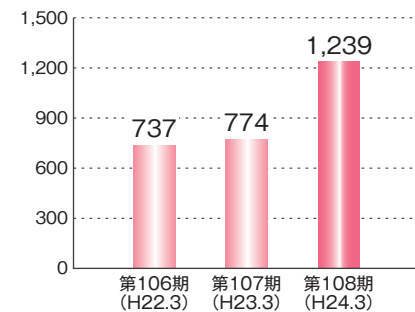
● 売上高 (百万円)



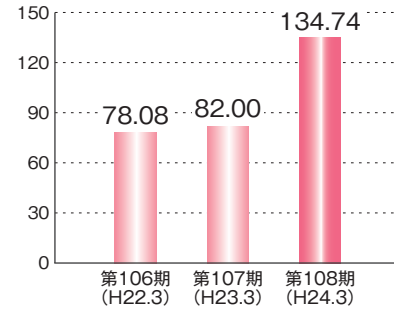
● 経常利益 (百万円)



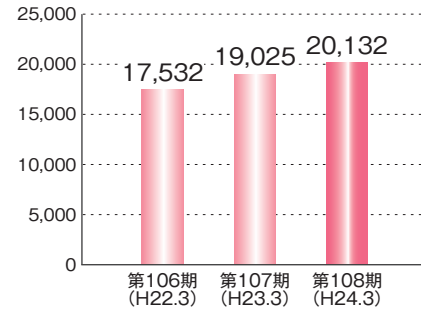
● 当期純利益 (百万円)



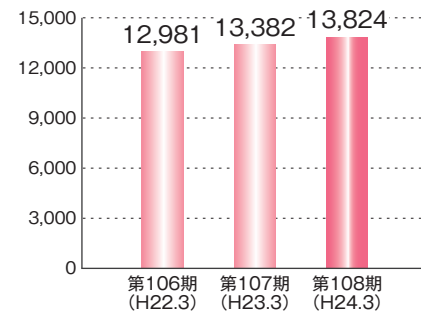
● 1株当たり当期純利益 (円)



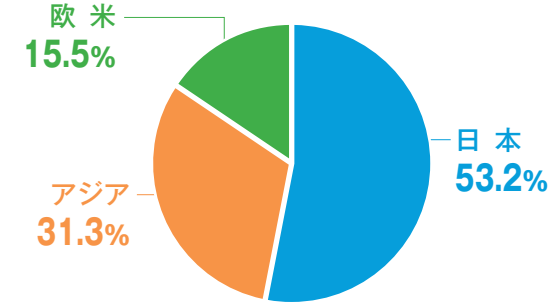
● 総資産 (百万円)



● 純資産 (百万円)

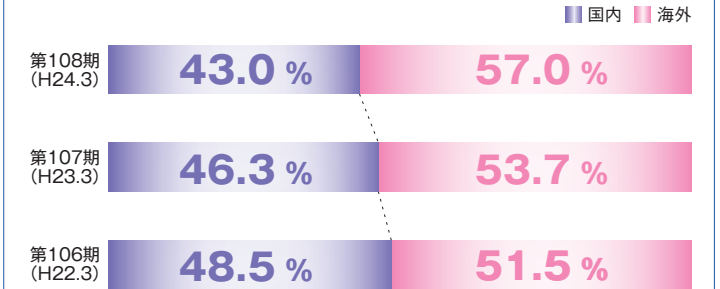


所在地別売上高構成比

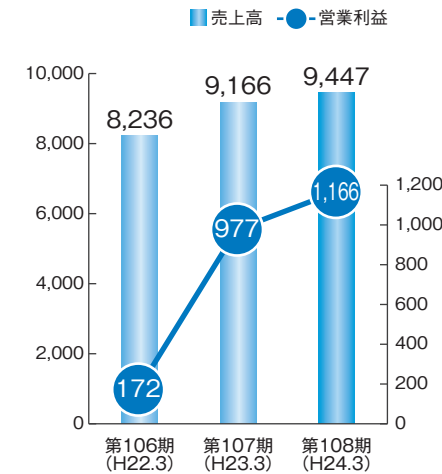


*売上高は外部顧客に対する売上高

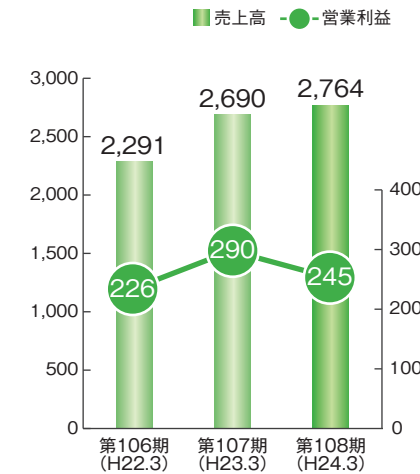
国内・海外売上高構成比の推移



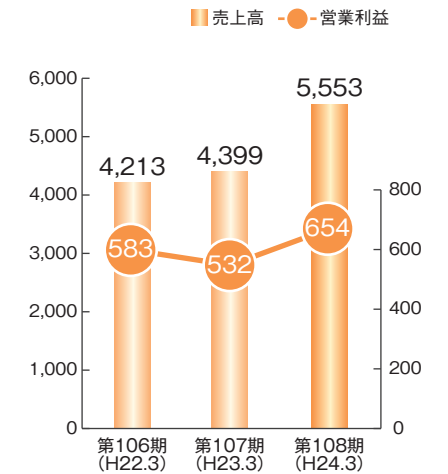
● 日本 (百万円)



● 欧米 (百万円)



● アジア (百万円)



(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度を考慮して決定しております。
2. 本邦以外の区分に属する国及び地域の内訳は、次のとおりであります。
(1) 欧米：米国、ドイツ
(2) アジア：中国、台湾、シンガポール、韓国

● 連結貸借対照表

科目	当期 (平成24年3月31日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	12,866,793	11,986,654
現金及び預金	2,714,091	3,509,834
受取手形及び売掛金	5,922,268	5,071,373
製品	963,360	1,002,401
仕掛品	1,947,351	1,177,254
原材料及び貯蔵品	874,270	797,939
繰延税金資産	393,939	437,862
その他	242,898	205,683
貸倒引当金	△191,386	△215,694
固定資産	7,266,197	7,039,164
有形固定資産	5,528,699	5,424,106
建物及び構築物	2,496,396	2,638,436
機械装置及び運搬具	926,943	918,650
土地	1,667,892	1,656,160
リース資産	298,753	86,611
建設仮勘定	55,685	29,843
その他	83,028	94,404
無形固定資産	509,589	309,232
その他	509,589	309,232
投資その他の資産	1,227,908	1,305,824
投資有価証券	949,794	1,044,198
長期貸付金	18,809	15,402
繰延税金資産	188,276	169,373
その他	104,727	108,450
貸倒引当金	△33,700	△31,600
資産合計	20,132,991	19,025,818

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科目	当期 (平成24年3月31日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	4,847,913	4,425,376
支払手形及び買掛金	2,040,360	1,795,825
短期借入金	641,436	527,556
リース債務	57,977	16,750
未払法人税等	283,791	470,227
繰延税金負債	100,681	73,697
製品保証引当金	58,816	51,748
賞与引当金	466,616	379,409
役員賞与引当金	28,000	25,000
その他	1,170,234	1,085,162
固定負債	1,460,351	1,218,083
リース債務	258,991	74,191
繰延税金負債	27,172	18,989
退職給付引当金	861,161	808,956
役員退職慰労引当金	112,471	113,496
その他	200,554	202,449
負債合計	6,308,264	5,643,459
(純資産の部)		
株主資本	14,160,564	13,641,305
資本金	2,116,823	2,116,823
資本剰余金	1,904,614	1,904,614
利益剰余金	10,682,541	9,629,368
自己株式	△543,415	△9,501
その他の包括利益累計額	△335,837	△258,946
その他有価証券評価差額金	106,303	133,900
為替換算調整勘定	△442,141	△392,847
純資産合計	13,824,726	13,382,358
負債及び純資産合計	20,132,991	19,025,818

● 連結損益計算書

科目	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	17,765,093	16,256,185
売上原価	11,072,884	10,148,670
売上総利益	6,692,208	6,107,514
販売費及び一般管理費	4,561,482	4,462,320
営業利益	2,130,725	1,645,194
営業外収益	143,491	126,793
営業外費用	143,869	248,801
経常利益	2,130,347	1,523,186
特別利益	1,130	1,094
特別損失	55,919	21,184
税金等調整前当期純利益	2,075,558	1,503,096
法人税、住民税及び事業税	742,708	746,309
法人税等調整額	93,742	△17,269
少数株主損益調整前当期純利益	1,239,106	774,055
当期純利益	1,239,106	774,055

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書

当期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
平成23年4月1日 残高	2,116,823	1,904,614	9,629,368	△9,501	13,641,305	133,900	△392,847	△258,946	13,382,358
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△185,933		△185,933			—	△185,933
当期純利益			1,239,106		1,239,106			—	1,239,106
自己株式の取得				△533,913	△533,913			—	△533,913
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）					—	△27,597	△49,294	△76,891	△76,891
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,053,173	△533,913	519,259	△27,597	△49,294	△76,891	442,367
平成24年3月31日 残高	2,116,823	1,904,614	10,682,541	△543,415	14,160,564	106,303	△442,141	△335,837	13,824,726

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	592,881	1,918,326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△734,089	△949,442
財務活動によるキャッシュ・フロー	△636,425	△91,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,835	△133,689
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△795,468	743,682
現金及び現金同等物の期首残高	3,436,355	2,692,673
現金及び現金同等物の期末残高	2,640,887	3,436,355

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 株式の状況（平成24年3月31日現在）

発行可能株式総数	34,600,000株
発行済株式の総数	9,450,069株
株主数	4,085名

● 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	1,143,200株	12.57%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	461,400株	5.07%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	335,400株	3.69%
徳永耕造	293,100株	3.22%
刈田耕太郎	270,622株	2.98%
帝国電機取引先持株会	225,200株	2.48%
江頭憲治郎	213,840株	2.35%
入江慶次郎	206,100株	2.27%
株式会社三井住友銀行	205,000株	2.25%
江頭榮次	204,273株	2.25%

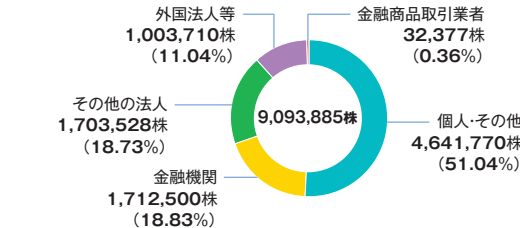
（注）上記の他に当社は自己株式356,184株を所有しております。

● 会社概要（平成24年3月31日現在）

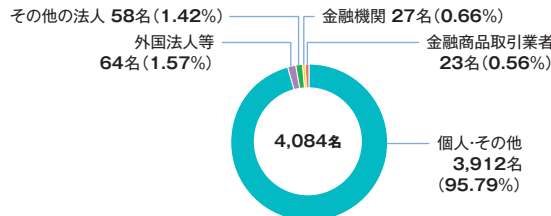
社名	株式会社帝国電機製作所 TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.
設立	昭和14年9月12日
資本金	21億1,682万3,450円
従業員数	連結 1,223名 単体 309名
本社	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地 Tel. 0791-75-0411（代表）
ホームページ	http://www.teikokudenki.co.jp/

● 株式分布状況

● 所有者別株式分布状況



● 所有者別株主分布状況



（注）自己株式（1名356,184株）を控除しております。

● 役員（平成24年6月28日現在）

代表取締役社長	宮地 國雄
常務取締役	中野 治
常務取締役	柴田 直行
取締役	其原 章治
取締役	中村 嘉治
取締役	尾上 喜一郎
取締役	前野 理生
常勤監査役	刈田 耕太郎
常勤監査役	田中 久継
監査役	長谷川 克博
監査役	曾我 巖



本社

● 本社及び主な事業所

- 本社及び新宮事業所
- 技術開発センター
- 国際事業部
- 東京営業所
- 大阪営業所
- 西部営業所
- 名古屋営業所
- 九州営業所
- 千葉出張所
- 静岡出張所
- 北陸出張所
- 東京サービス工場

● 国内子会社

- 株式会社協和電機製作所
- 株式会社帝伸製作所
- 株式会社平福電機製作所
- 上月電装株式会社
- 株式会社帝和エンジニアリング



● 海外子会社

- TEIKOKU USA INC.
- 大連帝国キャンدمータポンプ有限公司
 - * 台湾帝国ポンプ有限公司
 - * 無錫大帝キャンدمータポンプ修理有限公司
 - * 済南大帝キャンدمータポンプ修理有限公司
- TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD.
- TEIKOKU ELECTRIC GmbH
- TEIKOKU KOREA CO.,LTD.

（注）*は大連帝国キャンدمータポンプ有限公司の子会社であります。



大連帝国キャンدمータポンプ有限公司



TEIKOKU USA INC.